

令和2年4月▶6月

愛知で一番 星に近い村

豊根村 星空イベント

予約
不要 月イチ限定OPEN

星空カフェ「てんくう」

星空案内人と惑星や星座を観察したり、コーヒーを飲みながらのんびりと星を眺めたり、銀マットをレンタルして星空の下で寝転んだり、楽しみ方はさまざま！

場所：茶臼山高原第2駐車場 星空カフェ「てんくう」
日時：4月29日(水・祝) 5月23日(土) 6月13日(土)
各日18:30～22:00

予約
不要 リアルなプラネタリウム

星空案内人による「星空観察会」

※宿泊以外の方もご参加いただけます。

場所：休暇村茶臼山高原
日時：4月18日(土) 5月2日(土) 6月20日(土)
各日20:15頃～の予定

！お問い合わせは休暇村茶臼山高原 ☎0536-87-2334

事前
予約制 写真で残す美しい星空

超初心者向け「星空写真講座」

場所：茶臼山高原第2駐車場 星空カフェ「てんくう」
日時：5月4日(月・祝) 18:00～21:00

- 料金：4000円(食事付き)
 - 募集期間：4月4日(土)～4月27日(月)
 - 先着8名様限定。星空案内人が星空写真の撮り方を伝授。
- ※雨天・曇天でも決行予定

悪天候でも開催
愛知県一の
星空観察スポットで、
星空案内人とともに
お楽しみ
いただけます。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため
開催日程や内容について
変更となる可能性があります。

※詳しくは 豊根村観光協会 検索

「てんくう」開店日に

豊根村の宿泊施設をご利用いただいた方には、

「てんくう」で使えるドリンク券*をプレゼント！

満天の星をゆっくり楽しみたい方へ

とよね村お宿案内

休暇村茶臼山高原
☎0536-87-2334

900m

↑
星空カフェ「てんくう」からの距離

4.8km

御宿清水館
☎0536-87-2025

8.7km

民宿美川屋旅館
☎0536-87-2003

12.5km

民宿間当
☎0536-87-2018

15.4km

民宿花香
☎0536-85-1567

18.5km

民宿旅館山中荘
☎0536-85-1047

18.6km

三沢高原いこいの里
☎0536-85-1431

31.6km

とみやま来富館
☎0536-89-2007

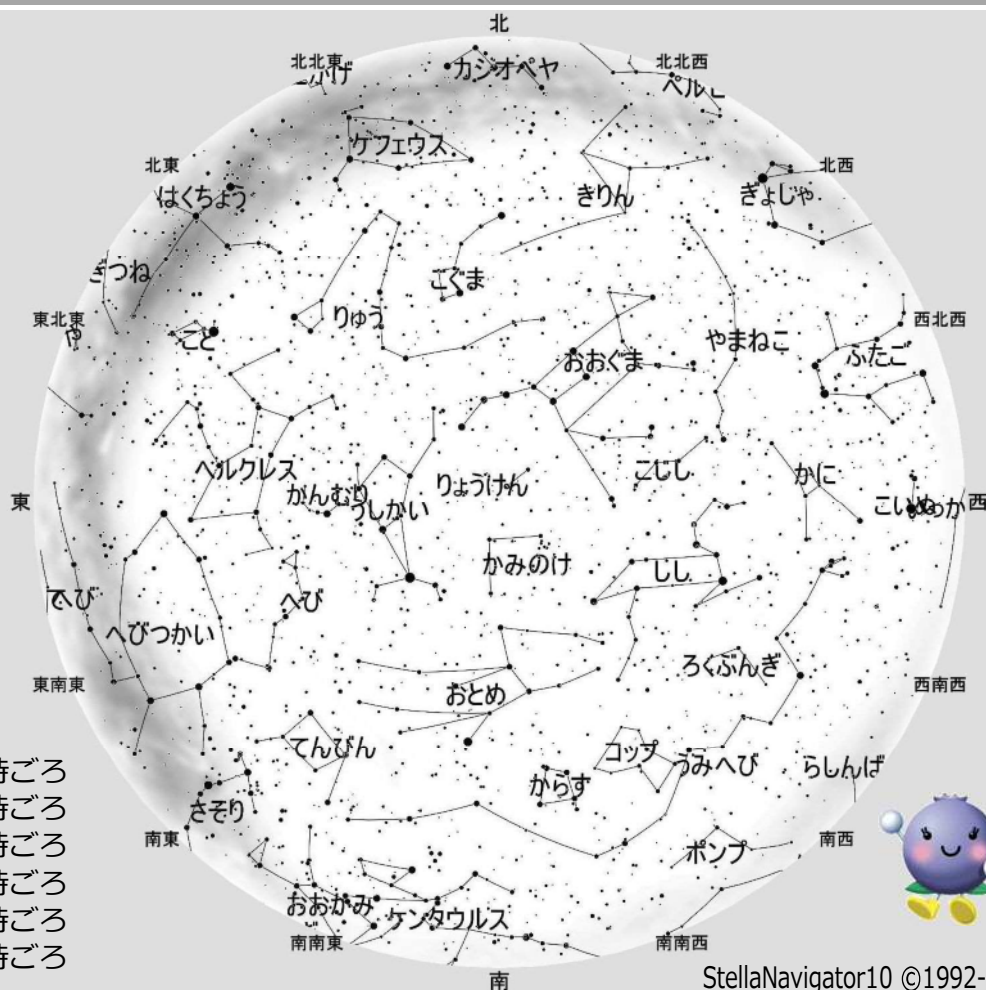
※ドリンク券はチェックインの際にお申し出ください。



豊根村観光協会
www.toyonemura-kanko.jp

愛知県北設楽郡豊根村坂宇場字宮ノ嶋29-3
TEL&FAX 0536-87-2525





4月 5日 24時ごろ
4月 20日 23時ごろ
5月 5日 22時ごろ
5月 20日 21時ごろ
6月 5日 20時ごろ
6月 20日 19時ごろ



StellaNavigator10 ©1992-2019 Astro Arts Inc.

4～6月の星空

夜空はすっかり春の装い。北の空には有名な北斗七星が目立ちます。その北斗七星は、おおぐま座のしっぽの部分。そのしっぽの曲線を伸ばしていくと、うしかい座の一等星アルクトゥールス、おとめ座のスピカが見つかります。アルクトゥールスはその黄色い輝きから麦星、スピカは青白い輝きから真珠星と呼ばれています。その2つの星と、しし座のしっぽにある二等星デネボラで「春の大三角」が結べます。この三角の中には、昨年、ブラックホールシャドーの撮影で話題になった楕円銀河 M87 があります。そのほかにも、地球から何千光年も離れたところにある系外銀河がたくさんあることが分かっています。

春の星空は、天の川がなくてちょっと寂しい気もしますが、天の川が邪魔しない分、私たちのいる天の川銀河の外側の世界が見られるチャンスでもあります。望遠鏡を使って、宇宙探索も面白いですね。

そして、この春の最大の見どころは、金星です。夕方の西の空にひと際明るく輝いて見えています。5月中旬までが見ごろです。

おもな天文現象

「天文年鑑 2020」より抜粋

4月	1日	上弦
	4日	清明 (太陽の黄経が 15°になる)
	8日	満月
	15日	下弦
	19日	穀雨 (太陽の黄経が 30°になる)
	23日	新月
	28日	金星が最大光度 (−4.5 等)
5月	1日	上弦
	5日	立夏 (太陽の黄経が 45°になる)
	7日	満月
	14日	下弦
	20日	小満 (太陽の黄経が 60°になる)
	23日	新月
	30日	上弦
6月	4日	水星が東方最大離角 (夕方西の低空)
	5日	芒種 (太陽の黄経が 75°になる)
	6日	満月 (明け方の月で半影月食)
	10日	入梅 (太陽の黄経が 80°になる)
	13日	下弦
	21日	夏至 (太陽の黄経が 90°になる)
		部分日食 (日本各地で見られる)
		* 中国・台湾方面では金環日食
	28日	上弦

6月21日部分日食

昨年12月の部分日食に続いて半年ぶりに日本各地で見られる部分日食です。中国・台湾方面では、金環日食が見られます。次回、日本で観察できる日食は、2023年。それも極僅かに欠けるだけなので、今回はぜひ見てみたいですね。専用の観察メガネを用意する等、眼の保護のための事前準備もとても大切です。ただ、梅雨時で天気はかなり心配です。